

磐田市立 豊田中学校
第1学年だより
No.25
平成29年10月10日発行

9/28 (木) 中間テストへの取り組みは、いかがだったでしょうか。



中学生として、最初の夏でした。 どのように、夏を越えましたか。



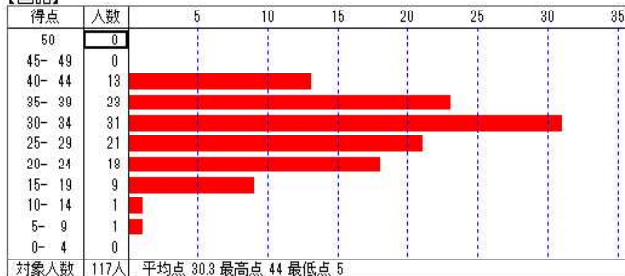
入学した後、中間・期末テストを終える度に、お子さんたちは「それまでの自分」を振り返ってきました。授業の大切さを感じたり、日ごろの生活において時間の使い方を工夫したりした生徒も多かったことでしょう。そして、中学生として最初の夏を越えて迎えた2学期中間テストでした。以下、度数分布表を掲載しました。

さて、「これからの自分」をどのようにイメージしていますか。テスト計画表を上達させる、学習のサイクル「予習・授業・復習」を充実させる、もっと丁寧に家庭学習を進める、自主勉強にチャレンジする、提出すべき規定ページに「+α」する、一度だけ学習して終了しないで反復して繰り返す、等。懸命な取り組みは、きっと期末テストを成功に導いてくれます。

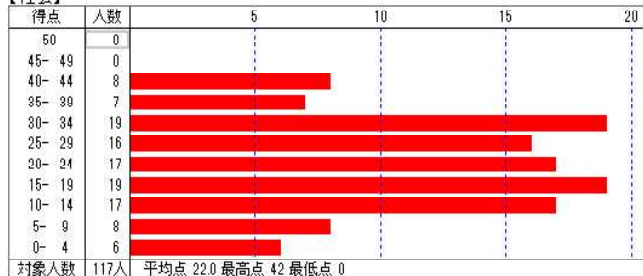
2学期期末テストは、11月16日(木)です。過ごしやすい季節となり、完全下校時刻も早くなっていくなど、学習に集中しやすい期間です。実りの秋です。

裏面、教科担任からのコメント掲載。今後の学習へのヒントになるかもしれません。

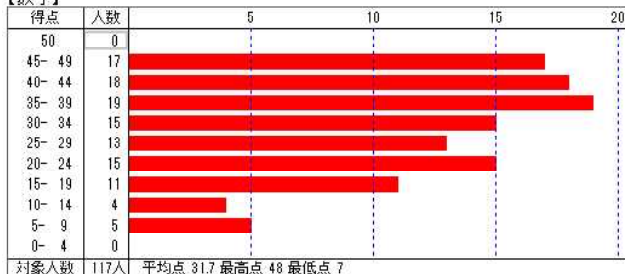
【国語】



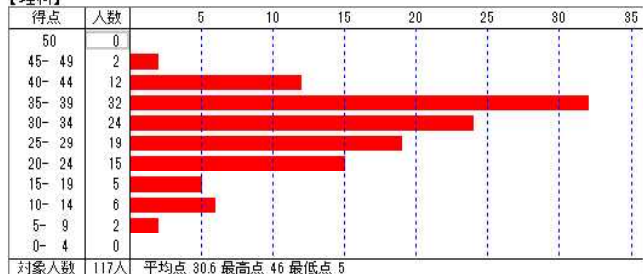
【社会】



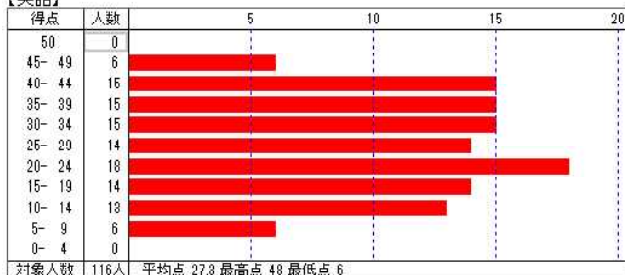
【数学】



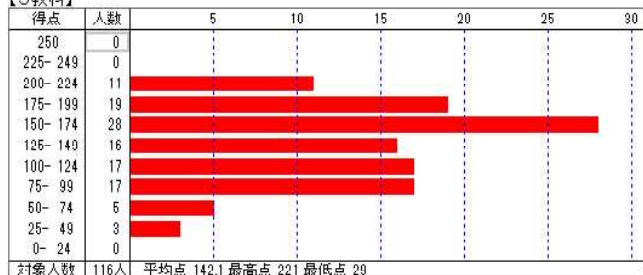
【理科】

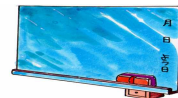


【英語】



【5教科】





《国語》

問題数が多かったため、文章を読む速さ、問題を解く速さが必要でした。教科書を3回通り読みましたか。国語の学力を伸ばすためには、まず文章をたくさん読むことです。そして、読みながら「筆者は何を言いたいのか」や、「この場面の登場人物はどんな気持ちでいるのか」等、自問自答しましょう。そうすることで、読み取る力が向上します。

文法も同じです。1つ言葉のきまりを覚えたら、「使える」ようになるまで繰り返すことが重要です。まだ「使えない」なら、学んだとは言えません。どのような問題が出題されても、覚えた言葉のきまりをできるようにしましょう。例えば、「晴れている」を文節に区切ると、「晴れて／いる」です。それでは、「眠っている」は、どこで区切れるのでしょうか。

漢字の学習では、日ごろの書き取りに意欲的に取り組んだり、漢字練習ノートでたくさん練習することができましたか。まずは漢字10問で満点とれるようにしましょう。

《社会》

地理・歴史ともに「ミスしてしまった」「問題文を読み間違えた」程度の低得点ではなく、全くの学習不足です。授業中の様子としては、真剣に取り組んでいる生徒をフォローしたい気持ちもありますが、テスト計画表やテスト勉強を進化させていますか。その結果、基本的な語句を解答する問題「卑弥呼、大化の改新、班田収授法、平城京・平安京」を正解することができましたか。「30百万」を何と読みますか。

【地理・歴史】誤解しやすい語句を整理しましょう。例①NIES、ASEAN、OPEC、例②推古天皇、天智天皇、天武天皇、持統天皇、聖武天皇、桓武天皇、例③飛鳥文化、天平文化、国風文化。また、各種資料を参考にして、説明できる学力を高めましょう。

【復習問題】1学期期末テストや夏休みの友（友テスト）からの出題でした。平均点は「5.1 / 12点」でした。まだ、学習内容を定着させる習慣が不足しています。

【その他】①地理・歴史ワークの事前提出者、のべ81名（前回比9名増）。

②自主勉強ノート提出者35名（同、6名増）、最高19ページ（同、10ページ増）。

③10 / 10（火）中間（再）テストを実施します。



《数学》

【計算】計算の式の意味を理解していないと計算できません。正・負の数では、減法、項を並べた式、四則が混じった式、累乗など、式の約束ごとをしっかりと復習しましょう。文字式では、文字式の成り立ち、文字の項と数の項の区別、（ ）の外し方、分配法則など、基本的なことを確実に理解しましょう。

【文字式で表す】文字式の表し方は正確に覚えてください。身の回りの数量を文字式で表すには、「 $+$ 」「 $-$ 」「 \times 」「 \div 」のどの計算になるのか、しっかりと考えることが大切です。また、最後の2題は、図をどうとらえていくかが問題を解く鍵となります。

【その他】復習ノートにがんばって取り組んでいます。さらに学力を高めるため、①自分で解いてみる、②途中の計算をしっかりと書く、③間違いを確実に直すことが必要です。

《理科》

今までの定期テストの中で、範囲が最も広いテストでした。テスト前の学習計画に悩んだ人が多いようでした。そのような中、復習に力を入れて学習できた人は、点数をキープすることができたようです。まずは、日々の授業における学習内容を復習しましょう。

そして、問題文をよく読み、簡潔に答えるとミスが減るのではないかと感じました。ワセリンを塗る理由については「気孔をふさぐため」というように簡単に答えましょう。理科の問題ですので、深読みし過ぎは禁物です。

また、実験結果に関して答える問題では、結果に書かれていること以外は書かないようにしましょう。石灰水を使った呼吸についての問題で、酸素に関して記述してしまうことは、よくある間違いです。気をつけましょう。

《英語》

【放送問題】よく聞き取れています。特に、ポイントを絞って丁寧にメモをしながらか放送を聞くと、さらに点数アップにつながると思います。必要なポイントだけを聞き取ることは、難しいと思いますが、メモを取りながら聞くというくせをつけていきましょう。

【表現】条件作文では、一般動詞を2回使ったり、1文を3語以上で書いたりする等、限定されている問題が多く出題されています。今後の学習として、場面の中でどのような英語が使われているのかを判断して、適切な表現を使って書くことを練習していくべきです。特に、ライティングノートを使用して、いかにたくさんの英単語を覚えていくことができるかが、カギとなります。ぜひ、普段の家庭学習への意識をさらに高めてください。